

KiKiの広場

2017年 10月 1日

cafe NO.84
KiKi



今年の「中秋の名月」はちょっと遅くて10月4日。9月の終わりに夜空を見上げると、やはり月の輝きが違って見えました。「中秋の名月」とは「秋の真ん中に出る満月に近い月」とのことで、4日は満月の2日前だそうです。月の惹き込まれるような不思議なパワーを感じつつ、ゆったりと夜空を見上げることができる幸せが、いつまでも続くことを願いながら、近い国も遠い国でも穏やかな夜を迎えられることを祈っています。

HALLOWEEN
10月の予定

休館日	10日(火)
定休日	毎土・日曜日
臨時休業日	9日(月)



「今月のケーキ」…「かぼちゃと紫芋のモンブラン」350円

かぼちゃと紫芋、2つのおいしさを一緒に楽しめるモンブランチョコをアクセントに加えた、濃厚かぼちゃホイップを中に閉じ込めてあります。ハロウィンにピッタリのメニューです。



今日のお気に入り…「いろいろな秋を味わおう! Part2」

～「あかいほっぺ きいろいほっぺ」「魔女からの手紙」「ねずみのいもほり」「おおきなおおきなおいも」「りんごのき」など～



「あかいほっぺ きいろいほっぺ」のカエデは、樹液を煮詰めてメープルシロップにするサトウカエデ(砂糖楓)のことです。作者のロイス・エイラトは、アメリカのウィスコンシン州生まれ。木がたくさんある家で、リスや小鳥などの生き物にかこまれて育ち、ガーデニングに親しんできたそうです。「わたしはこのきがだいすき」という文章が最初にあります。作者の想いが伝わってくる素敵な絵本です。「魔女からの手紙」は、ブルーナや五味太郎さん、長新太さんなど20人の画家が描いた魔女からの手紙。それを1つのストーリーにした角野栄子さんの絵本です。それぞれの作家さんの個性あふれる手紙に共感したり考えさせられたり、切手や消印まで凝っていて、絵本好きにはたまらない絵本です。



今日の本棚…「宮西達也の世界」

～「あなたをずっとずっとあいつてる」「サカサかぞくのだんながなんだ」「ぶたくんと100ぴきのおおかみ」などなど～



ティラノサウルスやウルトラマンシリーズで大人気の宮西達也さんの特集です。「あなたをずっとずっとあいつてる」を6年のクラスで読んだ時、泣きそうになるのをこらえるのが大変でした。そのクラスにいた女の子のお母さんから、「何の本を読まれたんですか？娘がすごく感動したって言ってました。」と声をかけられ時は嬉しかったのですが、どうしても泣きそうになるので、それ以来読めずにいます。宮西さんの本には愛があふれています。「サカサかぞくのだんながなんだ」は、上から読んでも下から読んでも同じ『回文』でできた絵本ですが、言葉あそびの中にも、原始時代を舞台にした夫婦愛がいっぱい詰まっています。



ほっとフレイク

敬老の日に、3歳の女の子と赤ちゃんを連れのお父さんとお母さんがご来店。女の子はすぐにカウンターに置いてある「わたしのワンピース」のうさぎのマスコット人形に気付き、「わたしのワンピースのうさぎさん。」とお母さんに教えていました。私が「絵本がおうちにあるんですか？」と聞くと、「いえ、図書館で借りて読んだんです。」と笑顔のお父さん。その後もお父さんとお母さんが交代で、女の子が本棚から選んできた絵本を読んであげていました。そのうち赤ちゃんがぐずりだすと、女の子が赤ちゃんの為に本をとってきてお母さんに渡しました。お母さんも「楽しそうな本ね。」とニコニコしながら赤ちゃんに読んであげたりと、みなさんで絵本を楽しまれました。本をしまう時、「どこからとって来たの？」とお母さんが聞かれると、「ハートのところから。」と答えた女の子。

大人はみんな「???」。すると女の子は本棚の前に置いてある子ども用の木のいすを指しました。そこで納得！いすは3つあって、それぞれ背もたれがいろいろな形にくり抜かれています。ハートとりんごとさくらんぼ。幼い子どもの感覚って楽しいですね。「ずっと来たかったんですけど、普段は保育園に行ってるのでなかなか来られなくて、やっとくることができてよかったです。」とお母さん。私にとっても楽しいひと時でした。♡

